

## 東京高円寺阿波おどり開幕！

本日、午後5時、東京の夏の風物詩「東京高円寺阿波おどり」が始まりました。今年、熱気あふれる会場には阿波おどりの本場徳島の原秀樹（はら・ひでき）徳島市長や田中良杉並区長が駆け付け、約1万人の踊り手たちを激励しました。テープカットを合図に高円寺のまちが阿波踊り一色の熱気に包まれました。

本日、23日（土）から2日間、高円寺のまちを舞台に、第58回「東京高円寺阿波おどり」（主催：NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会）が開催されます。58回を数える阿波踊りは、東京の夏の風物詩として、すっかり定着しています。この日も、8つの演舞場を囲むように観客で埋め尽くされています。観客からすると、この高円寺の商店街を縫うように、華麗な女踊り、勇壮な男踊りを手の届くような位置から見られるのが、魅力の一つです。観客は、夏休みの週末ということもあって、2日間で100万人ほどを見込んでいます。

23日午後4時45分、高円寺駅南口の高南通りの中央演舞場には、すでに多くの観客が詰めかけ、いよいよ阿波踊りの開幕ということで、会場も熱気に包まれています。高円寺阿波踊りの開会式には、本場徳島市から、原秀樹市長や地元選出の石原伸晃環境大臣、田中良杉並区長などが駆け付けました。田中区長は、「長い歴史を積み重ねた阿波踊りが、この地域の絆を強めていると感じています。踊る方も踊らない方も、この2日間を楽しんでください。」とあいさつしました。その後、テープカットを合図に、8つの演舞場で一斉にまつりがスタートしました。中央演舞場は、地元高円寺の「ひょっとこ連」と徳島から参加している「うずき連」がオープニングに登場すると、待ちわびた観客からは、大きな拍手と歓声が湧き上がりました。



「東京高円寺阿波おどり」は、明日、24日（日）も開催されます。会場で熱い夏を感じてみませんか？

### 第58回東京高円寺阿波おどり

【日程】8月23日（土）・24日（日）午後5時～午後8時

【会場】JR「高円寺駅」南北の商店街と高南通りを中心とした総延長約2kmのコースに8演舞場が設けられます。

【雨天の場合】雨天の場合の決行・中止は、当日の午前10時に決定します。

下記のホームページで確認ができます。

【問い合わせ先】NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会

TEL：3312-2728

URL：<http://www.koenji-awaodori.com/>

### 【問い合わせ先】

NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会 TEL：3312-2728